

平成 30 年度尼崎市子ども・子育て審議会第 1 回計画策定部会 議事録

開催日時	平成 30 年 10 月 15 日（月） 午後 6 時 45 分～午後 8 時 25 分
開催場所	尼崎市立すこやかプラザ 多目的ホールC
出席委員	瀧川部会長、伊藤特別委員、中尾特別委員、大和委員
議題	(1) 部会長による副部会長の指名 (2) ニーズ調査の設問設計に当たっての留意点等について (3) 調査票<就学前・小学生>（案）について (4) その他
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1－1 ニーズ調査の設問設計に当たっての留意点等 ・資料 1－2 国の「量の見込み」の算出等の考え方に対する必要な対応等 ・資料 2－1 尼崎市子ども・子育て支援に係るニーズ調査票<就学前>（案） 設問項目の前回比較 ・資料 2－2 尼崎市子ども・子育て支援に係るニーズ調査票<小学生>（案） 設問項目の前回比較 ・資料 2－3 尼崎市子ども・子育て支援に係るニーズ調査票<就学前>（案） ・資料 2－4 尼崎市子ども・子育て支援に係るニーズ調査票<小学生>（案） ・参考資料 1 第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方 ・参考資料 2 市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き ・参考資料 3 調査票のイメージ

開会

- 配布資料の確認

1 部会長による副部会長の指名

- 尼崎市子ども・子育て審議会条例第 8 条第 3 項に基づき、部会長から副部会長を指名

(副部会長あいさつ)

2 ニーズ調査の設問設計に当たっての留意点等について

- 資料 1－1、1－2に基づき、事務局から説明

部会長

ありがとうございました。資料 1－1、1－2 について、質問等があればお願いします。

私から 1 点、質問させていただきます。資料 1－1 の裏面のニーズ調査についてですが、調査方法として無作為抽出になっていますが、今回は区分があったと思います。この区分も無視して

無作為に抽出するのか、それとも、区分ごとに子どもの人口比率が違うと思いますので、そこを考慮して配布数を考えるということですか。

事務局

基本的には年齢ごと、地区ごとに、住民基本台帳の人口にて按分します。しかし、一部の地区については、統計上必要とされる一定数を下回り、十分な標本数が得られないことから、下限を設けて、調整をさせていただきます。

部会長

ありがとうございました。他にご質問等はございませんか。
(発言なし)

3 調査票〈就学前・小学生〉(案)について

●資料2-1、2-2、2-3、2-4に基づき、事務局から説明

部会長

ありがとうございました。4種類の資料がありましたが、資料2-1、2-2が、前回の設問と今回の設問の比較で、資料2-3、2-4がニーズ調査票の案です。次第に沿って、①ニーズ調査に当たって注意すべき点、②必須項目以外の市独自で追加する設問等、③調査票全体のボリューム、設問の流れ、レイアウト、表現のしかた等を検討していきたいと思います。

1つ目の「①ニーズ調査に当たって注意すべき点」について、委員の皆様の経験上から、「このような聞き方をした方が良い」や「このような工夫の仕方があるのではないか」というようなご意見があれば、教えていただきたいと思います。

2点目の「②必須項目以外の市独自で追加する設問等」では、市独自で追加した項目について、「このように集約した方が良いのではないか」や「もっと付け足した方が良いのではないか」というようなご意見をいただければと思います。

3点目の「③調査票全体のボリューム、設問の流れ、レイアウト、表現のしかた等」については、より良い表現方法を教えていただければと思っております。

まず①について、いかがでしょうか。

副部会長

資料2-3の8ページで、3歳から5歳の無償化について、問16に「一定の利用者負担が発生します」との記載がありますが、これは、保育料以外を指しているのですか。この文言は国からの指示で入れているのですか。例えば、保育所を選んだ人はこの表現を見て、どのように感じるのでしょうか。

事務局

問13の前で「無償化の動向を踏まえて教えてください」としており、問16では、例えば、保育料で、3号の一部(市県民税が非課税になっていない世帯)については、引き続き保育料がかかりますし、それ以外の事業でも、国からの示されている中には、「利用者負担が発生することがある」と記載がありましたので、このような表現にしていますが、アンケートに回答する方が、

はっきりと制度を理解しているとも限りませんので、この表現が問 13 の前で「無償化の動向を踏まえて答えてください」と書いてあることに反すると受け取られる可能性はあると思います。どのような表現にすると良いでしょうか。

副部長

「何番から何番までは利用料が発生する可能性があります」と書くしかないかもしれませんが、説明が詳しくなり過ぎるようにも思います。しかし、この表現が気になったので発言させていただきました。

部長

今のご発言に対して、何かご意見等はございませんか。

委員

就学前調査票の 4 ページから「定期的な教育・保育事業の利用状況について」で、来年度からの無償化のことについて触れており、「3 歳未満児については保育料が発生する」と記載されています。どの部分が無償化になるのかは書いてあるのですが、書き方としては、「無償化にならない部分以外は、費用が発生する」というような記述になっていると思います。8 ページの記述についても、0 歳から 5 歳を対象とされていますので、保育料がかかる子どもと無償となる子どもがそれぞれ存在し、それぞれが回答するということになるので、分かりにくくなっています。また、4 ページで「3 号認定の子どもに関しては保育料が発生する」と明記する必要があると思います。委員の皆様のご経験上、良い事例があればご教示ください。

副部長

サービスの内容などについて、どこかに説明を記載しますか。

部長

前回調査の際には資料があったと思いますが、いかがですか。

事務局

前は用語説明を付けており、今回も同様に、用語説明を付ける予定です。

部長

言葉の意味が理解できないと、空白にしてしまう可能性もあります。就学前の調査票に限らず、小学生の調査票にも用語説明は必要だと思います。

委員

小学校高学年の本人に聞く調査票の配布数は保護者に聞く調査票の半分ということですか。

事務局

小学生の保護者の調査対象は 3,000 件ですが、そのうち、高学年の対象者としては、約半分の 1,500 件程度となります。

委員

こういう調査を実施するときに、調査内容を理解できる方が100%であればよいのですが、無作為抽出だと、理解できない方もおられると思います。そのような場合の対応として、全ての漢字にふりがなを付けるというような手法があります。

また、数字を記入する枠も、もう少し大きくしないと記入するのが難しいと思います。回収率を上げようと思ったら、そのようなところにも配慮して対応していかないといけません。回収率の目標が50%でも良いのであれば構いませんが、世帯数からすると何%の方に回答してもらうということでしょうか。

事務局

平成30年3月31日付けの住民基本台帳では、就学前の子どもが約21,700人、小学生の子どもが約21,900人となっており、そのうち、それぞれ3,000人を対象としておりますので、15%程度となります。

なお、世帯数ということであれば、これより多くなると思います。

委員

しっかりと調査する場合に、尼崎市の世帯数に対して、母数が本当に有効なのかどうかも検討していかなければいけないと思います。

事務局

昨年度、尼崎市で小学校5年生と中学校2年生を対象にした、貧困に関する調査を実施しましたが、今いただいたご意見のように、内容を見た瞬間に「嫌だ」という印象を持って、調査票を捨てられる可能性が懸念されました。そのため、今のご意見も踏まえ、振り仮名をつけると見にくくなる可能性がありますので、漢字をひらがなにするとか、ページ数が増えるかもしれませんが、字も大きくしながら、設問の間隔を広げるなどの工夫をして、一見して回答しにくい印象にならないように修正したいと思います。

部会長

ありがとうございます。次に進みます。

設問項目について、追加、削除等のご意見があればお願いします。

副部会長

資料2-4の4ページ、問14で利用希望を聞く際に、「何年生まで」という表現がありますが、例えば、6年生の保護者が回答する場合、すでに利用しているので「6年生まで利用したい」に丸をつけない可能性があると思います。設問の意図は、6年生いっぱいまで利用したいということだと思います。「何年生の終わりまで」という表現にしたほうが回答しやすいと思います。

また、「今、何年生ですか」という設問はないので、生年月日から計算するのだと思いますが、この設問で学年を聞いておいたほうが、集計が簡単かもしれません。

委員

同じ設問で気になったところを申し上げます。ニーズ調査を考えるときに、問 13 で「児童ホームを利用していない理由」を問われています。前身の子育て会議の中でも、何度か、こどもクラブの話題が出てきていましたが、パートをしていますが、児童ホームを利用するまでではないという方が、長期休暇の際に、こどもクラブを児童ホームの代わりとしているということでした。こどもクラブでは昼食（お弁当）が食べれないなどの問題が、子育て会議の中でも出ていたと思うので、尼崎市として、どのくらい子どもたちが児童ホームの代わりとして、こどもクラブを利用しているのかを調べ、その利用者が抱えている課題の解決につながるようなニーズ調査の設問も入れたほうが良いと思いました。

部会長

ありがとうございます。就学前の調査票について、用語集を付けるので良いかもしれませんが、12 ページに「児童ホーム」という選択肢があり、第 1 子が、まだ 3 歳から 5 歳くらいの場合、幼稚園や保育所（園）の仕組みは少し理解できたとしても、こどもクラブと児童ホームの違いなどを理解できているか懸念されます。「児童ホームとは、いわゆる学童保育のことである」などの補足の情報が記載されていれば、区別が付きやすいと思います。

また、15 ページの問 28-5 は、問 28 で特定の選択肢を選んだ方にだけ回答していただくことになっていますが、全員に質問して、集計の際に、問 28 で特定の回答をされた方だけをピックアップした方が良いでしょう。

他にご意見等はございませんか。

委員

町名や番地まで聞いていますが、住所を聞く理由は何ですか。

事務局

現在、提供区域を 6 地区で設定しており、町名だけでは、同じ町名であっても、番地によって地区が違う場合があります、どの地域に該当するのか特定できない場所もありますので、番地までお聞きしています。

また、ご自身がどの地区にお住まいなのか分からない方も多くおられますので、そのようなことも踏まえて、町名番地までお聞きしています。

現行計画の「量の見込み」と「確保方策」は、6 提供区域（旧行政区）に設定しています。この提供区域の区分の数も、このままとするのか、もしくは、違った区分けを考えるのかも検討しなければいけません。その上で、町名番地まで細かく記載していただくよう考えております。

委員

収入等もお聞きしていますので、回答する方に抵抗がなければ良いのですが。

事務局

設問要旨の中で細かくお聞きする必要性を注釈書きなどで説明し、個人を特定する目的でないということをお示ししたいと思います。

部会長

他にご意見等はございませんか。

委員

就学前の1ページで世帯年収をお聞きしていますが、ご家族全員の世帯年収は、例えば、最近、育休を取得された方はかなり年収が変わってくると思います。昨年度の年収が知りたいのか、今年度の年収見込みが知りたいのかを明記した方が良いと思います。

事務局

昨年度の年収で良いと思います。通常時の平均年収ということですが、確認をさせていただきます。

副部会長

資料1-1に「利用希望の把握等をもとに推計することが義務化」と書いてあり、その前には「現在の利用状況」とありますので、「将来の希望を聞くのが義務化」という意味で、その上で見ていきますと、就学前の調査票で5歳児くらいのお子さんの親に対し、「小学校に入ったら、放課後の過ごし方は」という聞き方が、まさに、該当すると思いますが、例えば、0歳児の親に「1~2年後になったら」というのを聞く設問は入っていませんが、そのような聞き方は前回もしていないし、入れなくても良いという判断でしょうか。

部会長

資料1-1の「量の見込みの算出に当たっては」というところに、大きく2つの要素が書かれています。「保護者の現在の利用条件を踏まえて」ということと、「希望の把握」ということで、前段の部分が、ニーズ調査をしなかったとしても、今のままで推計すると、大体これくらいのニーズになるだろうという、現状の実数を踏まえた見込みで、その一方で、少し違った切り口で、ニーズ調査をすることによって、潜在的にどれだけニーズがあるのかということも含めて把握しようということだと思われます。そこで、ニーズ調査で出てくる数字は、現状の数字から考えると、恐らく、1.5~2倍くらいのニーズになっている可能性があり得ると思います。

事務局

問16で「現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の施設・事業として、定期的に利用したいと考える事業をお答えください」と記載しておりますが、例えば、「0歳の子どもが1歳になったら、利用したいですか」というような何歳になったら利用したいという聞き方はしておりません。

部会長

再確認しますが、事業計画冊子の37、38ページの表を作成するにあたって、27年、28年、29年、30年、31年度というのは、ニーズ調査を踏まえた推計を利用しているということでした。

その際に、ニーズ調査の数字だけを見ると、量の見込みが多くなり過ぎるので、実際の利用率など含めて、勘案した上で、量の見込みを設定したため、ニーズ調査の結果で、すべての数字が出てくるわけではないということです。

他にご意見等はございませんか。

委員

就学前の間 13-1 は、定期的に保育施設等を利用していない理由に、○をつけるという設問ですが、前回（25 年度）の調査の結果を見ましたら、回答は「その他」が非常に多くありました。

ここに挙がっている選択肢は、置かれている状況を記したものが占めているのですが、その他が非常に多い理由を考えると、「自分で子育てをしたいから、小さい時期には預けていない」という方も、結構いると思います。前回、「その他」が多かったということで、今回は選択肢を増やした方が良くもかもしれません。前回の「その他」の自由記述には、どのようなことが書かれていたか分かりますか。

部会長

お手元に資料があれば説明をお願いします。

事務局

問 13-1 の「定期的に保育施設等を利用していない理由」ですが、回答で一番多かったのは、「父母のうち一方が就労していないため」でした。2 つ目に多かったのが、「対応できない年齢のため」で、3 つ目に、「経済的な理由のため」、4 つ目で、「その他」でした。そのため、おっしゃられるように、選択肢に工夫をしていけるよう検討しようと思います。

部会長

お願いいたします。

全体的なボリューム等はいかがですか。できる限りスリムにした方が良いと思います。

副部会長

基本的には、それほど量は変わっていませんね。どちらかといえば、少し減っていますね。

前回も 50% くらいの回収率だったので、それほど極端に設問数を減らす必要はないと思います。統計的に 55% くらいあれば大丈夫です。

委員

最近、「このアンケートの回答時間はおおよそ何分くらいです」というような表記を見るのですが、この調査票は設問数がかかなり多いですので、もし、10 分程度で回答できるのであれば、表記した方が回収率は上がると思います。

部会長

仮で、事務局で回答してみて、どのくらいの時間がかかるものなのか。初めて内容を見る方は内容を理解している人が回答する時間の 1.5 倍くらい掛かるのではないかと思います。

事務局

正確に測っていませんが、20~30 分は掛かりました。初めて見る方は、もう少しかかるかもしれません。対象の子どもがいる職員に回答してもらい、測ってみます。

部会長

就学前についてのご意見が多いですが、小学校の方はいかがですか。

基本的に、量を推計するには十分な項目を踏まえていると思います。やはり、独自項目の視点から考えたときにどうかということだと思います。

委員

小学校高学年の本人を対象にした調査票は、前回はなかったように思います。私が小学校高学年にアンケートをしたときは、もう少し、回答例を記載したり、ふりがなを振っていたように思います。

「1つに○をつける」についても、小学校4年生では分からないかもしれません。「○は3つまで」という記載も結構難しく、「○は1個でも、2個でも、3個でもつけてよい」という意味が分かるかと言われると、難しいのではないかと思います。

事務局

先程も触れましたが、昨年度、子どもの生活に関する実態調査事業を実施しまして、ご指摘のありましたとおり、4年生から6年生への設問する場合、4年生が理解できる質問と選択肢にするということで、4年生までに習わない漢字はひらがな表記としました。そのため、昨年度の調査で使った表現を参考にして、保護者を対象としたものよりも丁寧に設定していこうと思います。

部会長

小学校の7ページの間20-2の選択肢に「5歳児健診」がありますが、これは意図的に入れているのか、削除した方が良いのかどちらですか。

事務局

小学生に対する選択肢としては適切ではないので、削除いたします。

部会長

ありがとうございます。他にご意見等はございませんか。

それでは、時間になりましたので、本日はここで区切らせていただきまして、専門的な視点からのご意見、ご質問、ありがとうございました。また、本日いただいた意見を踏まえ、設問内容等については、事務局と私のほうで調整させていただこうと思います。次回の部会では、部会委員全員で、もう一度確認する場がございますので、その際には、ご意見をよろしく願います。日程的には、今回は微調整ということになると思いますので、それまでにご意見等がございましたら、事務局までご連絡ください。

4 その他

- 次世代計画策定に係る中高生向け意識調査の実施について事務局より説明

部会長

今回のニーズ調査とは別で実施される調査という理解でよろしいですか。

事務局

本日議論していただいた調査については、調査票を郵送して自宅で回答していただきますが、次世代計画の策定にかかる調査は学校で配布し、その場で回答していただくものになります。

部会長

調査をして結果が出たときに、この部会で検討する内容はありますでしょうか。

事務局

就学前・小学生の保護者に実施するニーズ調査と違って、次世代計画を策定する際に中高生を対象に実施する意識調査で、その結果を次世代計画に反映させていければと考えております。

部会長

改めて、次世代計画に関係するということを把握しましたので、そういう調査があるということですね。

では、事務局から次のスケジュール等について説明をお願いします。

●次回（第2回）計画策定部会の日程等の事務連絡

部会長

以上でございますが、何かご質問等はありませんか。

特に無いようですので、これをもちまして、尼崎市子ども・子育て審議会第1回計画策定部会を終了いたします。

閉会

以 上

会 議 録 署 名 者

委 員

委 員